

令和8年5月28日

事業報告

講座名	令和8年度やまぐちキッズスクール 第1回
日時・場所	5月16日(土) YMfg維新セミナーパーク
参加者数	参加者: 17組46人(子ども23人、大人23人) 学生スタッフ: 8名

1 概要

本事業は、県内の4歳～小学3年生およびその保護者を対象とする全3回の体験学習事業である。下記を目的とし、5月16日に第1回目を実施した。なお本事業には県内の大学生が学生スタッフとして参加し、子供の活動をサポートする。

<目的>

生命や自然を大切に作る心や好奇心、探究心や創造力を高めるきっかけにするとともに、興味、関心の共有・表現を通して、他者を理解し、互いを尊重し合う気持ちを育む。

(1)午前

AFPY(アフピー)体験 講師:山口県十種ヶ峰青少年自然の家

「他者とかかわり合う活動を通して、個人の成長を図り、豊かな人間関係を築くための考え方と行動の在り方を学び合う、山口県独自の体験学習法」であるAFPYを、3つのグループに分かれて体験した。体育館内や屋外で、じゃんけんや、ボールなどを使ったゲーム、あるいは鬼ごっこなど、チームワークを必要とするものや、お互いの距離が縮まるような体を使ったプログラムに取り組んだ。どのチームも、初めて出会ったグループのメンバーと、協力したり、声を掛け合ったりしながら取り組み、初めは緊張していた子どもたちも、しばらくしたら親と離れて遊ぶようになっていたり、自分から声をかけるようになっていたりする姿が見られた。保護者や大学生も含めて皆の距離があつという間に縮まり、キッズスクール第1回目の最初にふさわしいプログラムであった。

(2)午後

農園教室 講師:(一社)セミナーパーク協力会

午後からは、山口県セミナーパーク内の自然ふれあいゾーンに移動して、まず、さつまいもの植え付け体験に取り組んだ。講師からはまず、さつまいもがどのように成長するのか、そのためにはどんなお世話が必要なのかなどの説明があった。実際に植え付ける際には、講師

からの説明を思い出しながら、時には横で指導を受けながら取り組んでいた。

次にたまねぎの収穫を体験した。初めにさつまいもの時と同じようにたまねぎの収穫の仕方
のレクチャーを受け、その後家族ごとに畝に入って行って収穫をした。皆手際よく抜いていき、
あっという間にすべてのたまねぎを収穫した。収穫が終わった後は、皆で葉っぱを集めたり、
たまねぎを運んだりして畑の片付けをした。

収穫したたまねぎは仕分けして参加者に持って帰ってもらった。

2 写真

